

病児・病後児保育を実施しています

平成23年4月28日より町が富士見高原病院に事業委託し、病児・病後児保育を実施しています。病児・病後児保育は、お子さんが病気または病気回復期にあり、ご両親がお勤め等でどうしても家で看護できない場合に、一時的に預かり保育を行うものです。いざという時にご利用いただけるよう事業内容をご確認いただき、早めの手続きをお願いします。詳細は町のホームページをご覧ください。子ども課子ども支援係までお問い合わせください。



- ◆事前登録が必要 ◆利用される場合は富士見高原病院で受診していただき、
ドクターの判断により受入を行う ◆対象児童は生後6ヶ月から小学校3年生まで
- ◆富士見町に住所を有するものは無料 ◆利用定員は1日4人まで

☎子ども課 子ども支援係 ☎62-9237

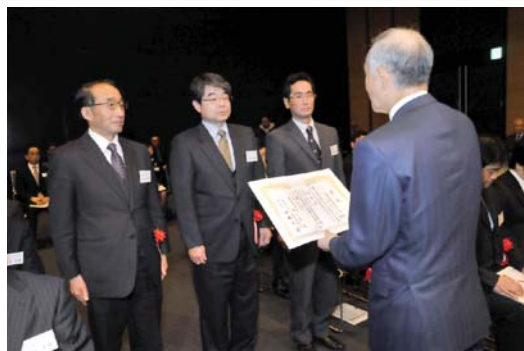
教育委員会だより

富士見町

第74号

平成23年度 ソニー子ども科学教育プログラム 富士見中学校“優秀賞” 富士見小学校“奨励賞”

ソニー教育財団の理科教育振興資金贈呈は、今年で52年目。主題である「科学が好きなお子さんを育てる教育」を、富士見中学校では「『科学する心』を持った生徒である」ととらえ、科学する心とは何か、それを育て授業展開はどう行うのかをまとめ、教育論文としたものが書類審査と現地審査（授業及び生徒の活動の様子）の結果、全国202校中16校に与えられる優秀賞に認められました。



▲ソニー本社での受賞式

—「教育の町」づくりに向けて③—

授業改善の取り組み〈小学校・算数〉

みなさんご存じですか？ 昨年の4月から小学生は新しい教科書を使っています。以前より質も量もアップして、子どもたちは大変!? でも、元気よく明るく、毎日どんどん新しい知識を吸収しています。がんばっている子どもたちに応えるために、毎日の「できた・分かった」を積み重ねていき、昨日より今日、今日より明日と成長していけるように指導・援助していかなければと思います。

例えば算数の授業では、答えをどう導くか、試行錯誤をしながら考えていく力をつけることを大切にしています。四角形や三角形の面積の学習では、線を引いたりはさみで図形を切って変形させたりして、面積の求め方を考えます。文章問題では、絵や図、表や関係図を書いてから式を作り、問題解決を行います。小数や分数を計算する学習では、今まで習ってきた整数の計算方法を応用して、計算のしかたやきまりを見つけていきます。公式ややり方を丸暗記するのではなく、具体的なイメージを持ったり複数の解決方法を試行したり、やり方を発見したりすることができる授業をめざしています。将来、難問にぶつかってもたじろぐことなく、自分の今ある力を駆使してそれに立ち向かっていく。そんな力も、算数で培っているのです。

新しい教科書を使った1年間がもうすぐ終わります。この1年間の子どもの学びを見返し、良かったところは継承し、伸び悩んだところは指導のあり方を改善して、4月からのまた新たな1年間のスタートに備えます。今日より明日、今年より来年の成長をめざして。

(町学力向上推進委員会・松山浩之＝富士見小学校教諭)

編集後記

町のホームページでも、子育てや教育に関するいろいろな情報を掲載しています。随時更新していますのでご覧ください。(Y)



平成24年2月1日発行
富士見町教育委員会編集
☎62-9235
kodomo@town.fujimi.nagano.jp

定例教育委員会

2月15日(水)
午前9時30分より
役場2階
教育長応接室
傍聴歓迎!

子どもに関する なんでも相談

月曜日～金曜日
午前9時～午後5時
☎62-9233
家庭相談員(宮沢)



(『子育てホットファミリー
かるた』より)